

# 大阪・関西万博で「新ロボット3原則」発表

～ロボットと暮らす社会の実現に向けて～

Robot Friendly プロジェクトは2025年9月29日、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)で「新ロボット3原則」を公開した。

Isaac Asimov(アイザック・アシモフ)のロボット3原則が「ロボット側の行動規範」として設計されたのに対し、この「新ロボット3原則」は「ヒトとロボットの相互関係」に焦点を当て、双方の責任と行動原理を示している。種族としての「ヒト」対「ロボット」の構造であった旧ロボット3原則に対して、新ロボット3原則では「個」対「個」としての関係性を重視し、ヒトとロボットが対等な存在として共生し役割を補完し合うというのが特徴である。

また、「新ロボット3原則」は、社会と技術の進化に合わせて継続的に発展する“プロセス”を考慮している点も特徴。大阪・関西万博会期中は来場者やオンライン参加者からの意見を募集し、更新版を毎日X(@RobotFriendlyPJ)に投稿している。さらに、10月13日(月・祝)の大阪・関西万博最終日午後13時から、万博会場の「Robot Friendly プロジェクト」ブースにて、新ロボット3原則の詳細および大阪・関西期間中に変化した「新ロボット3原則」を発表する。

## 新ロボット3原則 New 3 Laws of Robots

第1の約束 The First Promise:

### 相互尊重 Mutual Respect

People and robots respect each other's existence,  
Treat with respect

ヒトとロボットは、互いの存在を尊重し、敬意をもって接する

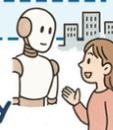


第2の約束 The Second Promise:

### 社会の一員 Members of society

People and robots,  
teach each other, Acting as a member of a society's network

ヒトとロボットは互いに、社会のネットワークの一員として振る舞う



第3の約束 The Third Promise:

### 共進化 Co-evolution

People and robots learn together, grow together,  
Contributing to the Realization of a better era

ヒトとロボットは共に学び、成長し、より良い社会の実現に貢献する



感想や修正案は、Xに投稿 Please post your comments and suggestions on X.

#New3RobotLaws #新ロボット3原則

ガイドライン詳細はこちら

You can see the detail documents from here.

©Robot Friendly Project  
Tomomi Ota and Rikiya Yamamoto





## Isaac Asimov のロボット3原則とその違和感

1942年、SF作家Isaac Asimovは短編小説「Runaround」の中で、ロボット三原則を提唱しました。これはSF作品の中で登場するロボットたちに組み込まれた倫理的な指針でしたが、現在のロボット開発や倫理指針にも影響を与えています。

### ロボット3原則

- 第1原則** ロボットは人間に危害を加えてはならない。また、その危険を看過することによって、人間に危害が及ぶことを許してはならない。  
A robot may not injure a human being or, through inaction, allow a human being to come to harm.
- 第2原則** ロボットは人間の命令に従わなければならない。ただし、その命令が第一条に反する場合は、この限りではない。  
A robot must obey the orders given it by human beings except where such orders would conflict with the First Law.
- 第3原則** ロボットは、前掲第一条および第二条に反しない限り、自己を守らなければならない。  
A robot must protect its own existence as long as such protection does not conflict with the First or Second Law.

### ロボット3原則への違和感

ヒトの存在を特別視した  
人間中心社会への違和感



([2] より引用)

参考文献：[2] アイザック・アシモフ（1942年）『Runaround』



## 旧3原則と新3原則の違い

Isaac Asimovの3原則がロボット側の行動規範として設計されたのに対し、この新ロボット3原則はヒトとロボットの相互関係に焦点を当て、双方の責任と行動原理を示している。

### ロボット3原則



#### 種族としての 「ヒト」対「ロボット」の構造

ヒトとロボットを種として対比する構造では、ヒトは生物的存在、ロボットは人工物として、能力・役割・権利の差異が強調される。

### 新ロボット3原則



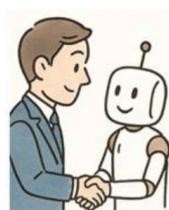
#### 個としての「ヒト」と個としての 「ロボット」のパートナー構造

「個」対「個」として関係性を重視する構造では、ヒトとロボットが対等な存在として共生し、役割を補完し合うパートナーシップが重視される。



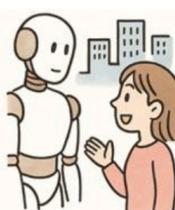
## 新ロボット3原則の提案

ヒトとロボットの関係は変化しつつある。  
我々が考える“Robot Friendly な社会”では、ヒトとロボットが「対等」な関係性であることを想定している。  
新ロボット3原則では、その新たな関係性をもとに「約束\*」を定める。  
\*関係性は日々進化・変化するため「原則」という不変的な表現ではなく、より柔軟な「約束」と表現する。



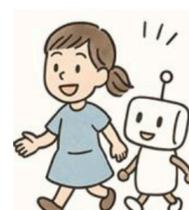
### 第一の約束 相互尊重

ヒトとロボットは、互いの存在を尊重し、敬意をもって接する



### 第二の約束 社会の一員

ヒトとロボットは、互いに、社会のネットワークの一員として振る舞う



### 第三の約束 共進化

ヒトとロボットは共に学び、成長し、より良い社会の実現に貢献する

これらの約束は、単なる理念ではなく、実践的な行動指針として機能することを目指しています。

「新ロボット3原則」の展示は、2025年9月29日(月)から10月13日(月・祝)まで。大阪・関西万博(夢洲)の「ROBOT & MOBILITY STATION(ロボット&モビリティステーション)」内にある「Robot Friendly プロジェクト」ブースにて展示する。

### ■ メディア・来場者向け発表会 & トークセッション

日時: 2025年10月13日(月・祝) 13:00-13:20

場所: 大阪・関西万博(夢洲)「ROBOT & MOBILITY STATION(ロボット&モビリティステーション)」内「Robot Friendly プロジェクト」展示ブース

### ■ 新ロボット3原則(詳細はこちらからダウンロードいただけます)

[新ロボット3原則 ~Robot Friendlyな社会の実現に向けて~ New Three Laws of Robots](#)

(こちらからダウンロードいただけます)

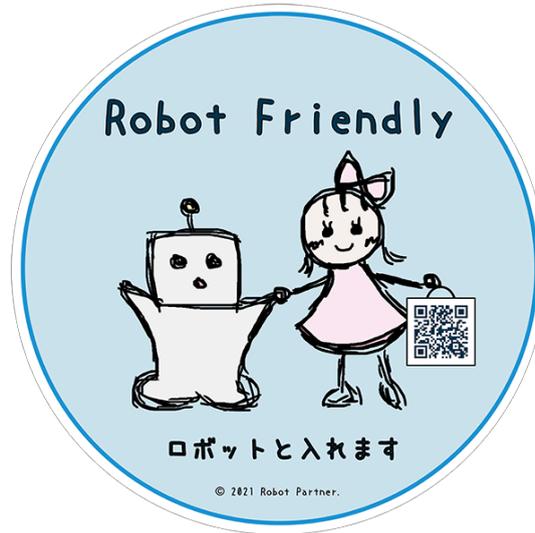
<https://www.slideshare.net/slideshow/3-robot-friendly-new-three-laws-of-robots-to-prepare-for-the-robot-friendly-society-2e9e/283525703>

発案者・著者: Robot Friendly プロジェクト 発起人 太田智美、アンバサダー 山本力弥

## ■ 出展概要

日時: 2025年9月29日(月)～10月13日(月・祝)9:00～21:00

場所: 大阪・関西万博 ROBOT & MOBILITY STATION(ロボット&モビリティステーション)内「Robot Friendly プロジェクト」展示ブース



## ■ Robot Friendly プロジェクトについて

「Robot Friendly プロジェクト」は、ヒトとロボットが日常生活や公共空間で暮らしやすい“Robot Friendlyな社会”の実現を目指し活動しています。万博会場ではパートナーロボットと来場者が出会い、ともに未来の社会を考える機会を提供しています。

## ■ イベントURL

- ・[ロボットエクスペリエンス | EXPO 2025 大阪・関西万博公式Webサイト](#)
- ・[Robot Friendly プロジェクト](#)

本リリースに関する取材・お問い合わせ

[info@robot.friendly.com](mailto:info@robot.friendly.com)